

株主の皆さまへ

第94期中間報告書

(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

東芝機械株式会社

Best Partner of Leading Industries

証券コード：6104

株主の皆さまへ



株主の皆さまには、平素よりご高配を賜わり、心よりお礼申し上げます。

ここに、株主の皆さまへ（第94期中間報告書）をお届けするにあたりまして、ひと言ごあいさつ申し上げます。

取締役社長 飯村 幸生

当第2四半期の状況と業績

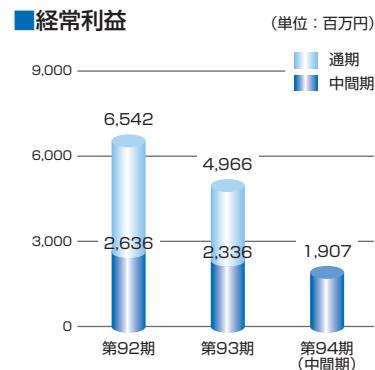
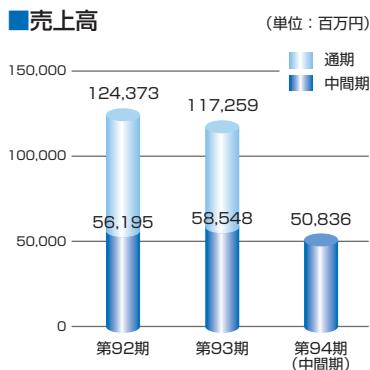
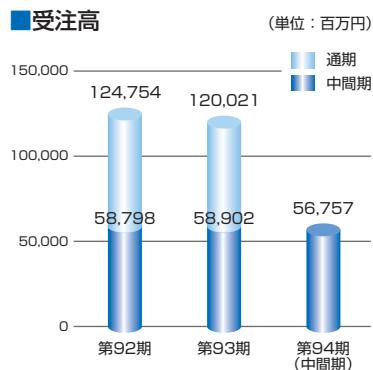
当第2四半期連結累計期間における国内の景気は、為替の急激な円高進行を受けて、製造業を中心とする企業収益改善に足踏み状態がみられたものの、政府の経済政策により緩やかな回復基調で推移いたしました。海外の景気は、米国やインド、欧州などは堅調に推移した一方で、中国やタイを始めとする東南アジア諸国は経済停滞が継続し、世界経済は先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する機械業界につきましても、国内の設備投資は緩やかながら回復傾向を示しているものの、

海外は対象とする市場や製品により景況感に差異が生じております。

このような経済環境のもとで、当社グループは中期経営計画「TM-PΣ Plan」(Toshiba Machine Profit Sigma Plan)を平成28年4月1日からスタートさせ、これまでの「先進と拡張」の考えを継承しつつ、新たに「高収益体質への変革」と「選択と集中」を基本方針といたしました。今後成長が見込めるグローバル市場において、当社グループが着実に成長していくための諸施策として、総原価の低減、

業績ハイライト



収益性改善に向けた生産革新活動、グローバルな最適調達網の構築、新市場の開拓、国内外の注力市場に向けた新商品の開発、受注の拡大等に全力をあげ、取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、当社が注力する中国・東南アジア諸国の景気停滞により、508億3千6百万円（前年同期比13.2%減）となりました。損益につきましては、為替の影響を大きく受けたものの、営業利益は原価低減の諸施策を進めた結果、14億2千9百万円（前年同期比1.3%減）、経常利益は、19億7百万円（前年同期比18.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、13億8千2百万円（前年同期比57.7%減）となりました。

今後の見通しと取組み

今後の経済環境は、国内経済は各種政策の効果もあり、引き続き緩やかな回復に向かうことが期待されます。海外経済については、米国、インドなどは堅調さを維持し、一部新興国でも景気に底入れが期待されるものの、中国およびアジア諸国の景況感是不透明さが続くものと想定され、加えて、急激な為替変動など予断を許さない状況が続くことが予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、総原価低減諸施策として、国内外工場における生産のさらなる効率化、最適調達の一層の強化等を実施すること、ならびに、地域・

顧客等新市場の開拓、市場・顧客ニーズにあった新商品の開発・上市等によるグローバル市場でのブランド力を向上することで、さらなる収益の拡大に努めてまいります。

また、ISO9001・14001をベースとした品質・環境管理の徹底等に注力し、当社グループの将来を担う人材の育成ならびに法令遵守、社会貢献など企業の社会的責任活動にも積極的に取り組んでまいります。

配当について

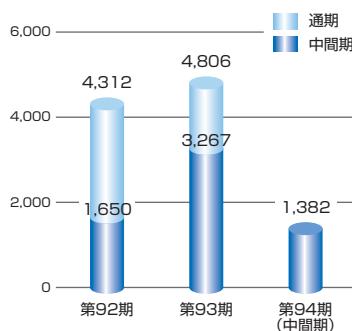
当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。利益剰余金につきましては、財務体質を強化しつつ、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

なお、当期中間配当金につきましては、1株につき6円とさせていただきます。

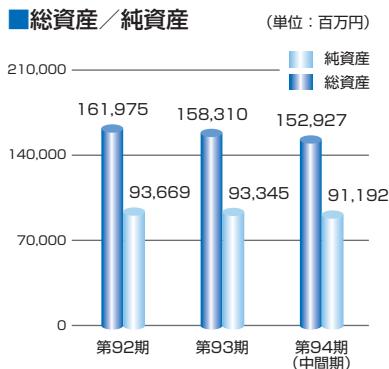
株主の皆さまにおかれましては、何卒いっそうのご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成28年12月

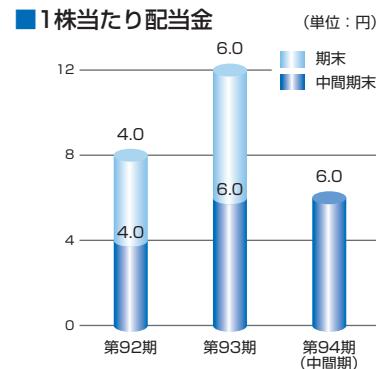
■親会社株主に帰属する四半期純利益 (単位：百万円)



■総資産／純資産



■1株当たり配当金



事業別の概況

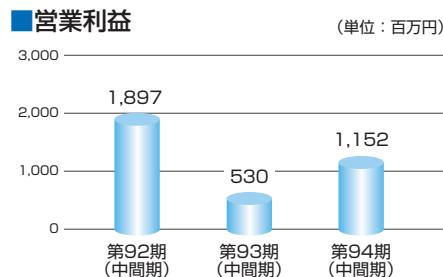
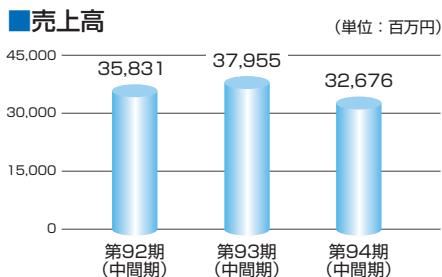
成形機事業（射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など）

射出成形機は、東アジアおよび東南アジア向けが低調に推移したものの、国内、北米および欧州の自動車関連業界向けや国内、北米の容器関連業界向け等の販売と受注が堅調に推移いたしました。

自動車、二輪車関連業界向けを主な供給先とするダイカストマシンは、販売は設備投資の一巡により停滞していましたが、米国、メキシコ向けの受注は堅調に推移いたしました。

押出成形機は、中国の二次電池関連業界向けシート・フィルム製造装置等の需要を受け、販売は堅調に推移したものの、国内は食品用シート製造装置等の販売が減少いたしました。受注は、国内の光学関連業界向けや国内、中国の二次電池関連業界向けのシート・フィルム製造装置等が増加いたしました。

この結果、成形機事業全体の売上高は、326億7千6百万円（前年同期比13.9%減）、営業利益は、11億5千2百万円（前年同期比117.3%増）となりました。

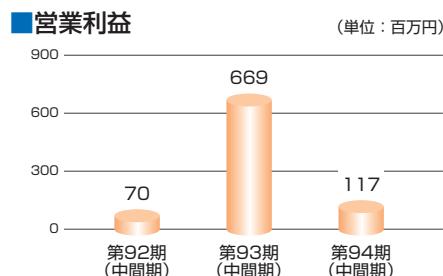
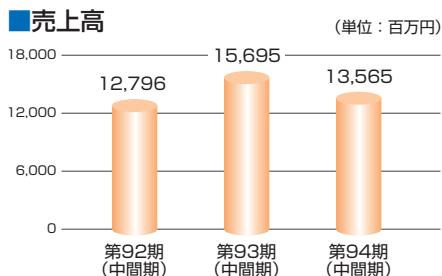


工作機械事業（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤、精密加工機など）

工作機械は、国内の機械部品加工関連業界向けを中心に、景気の先行き不透明感から慎重な姿勢がみられました。また、海外は、北米のエネルギー関連業界の低迷や中国経済減速による投資抑制があり、販売と受注が減少いたしました。

精密加工機は、国内の自動車関連光学部品向け金型業界や国内および中国向けのスマートフォン関連製品の金型業界向け等で、堅調な販売と受注を維持しております。

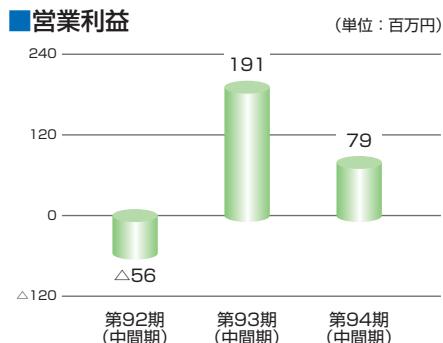
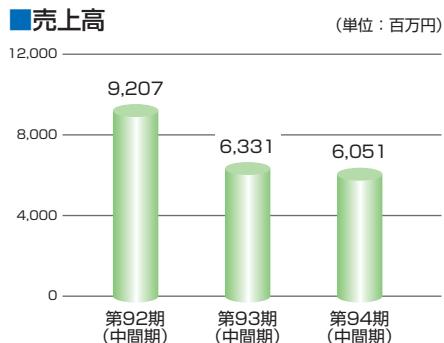
この結果、工作機械事業全体の売上高は、135億6千5百万円（前年同期比13.6%減）、営業利益は、1億1千7百万円（前年同期比82.5%減）となりました。



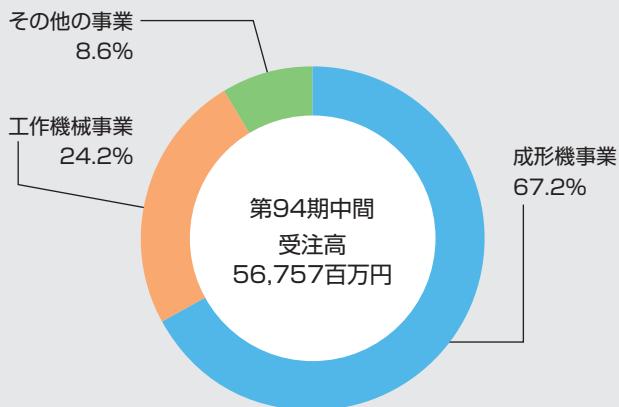
その他の事業（産業用ロボット、電子制御装置など）

産業用ロボットは、国内の自動車関連業界等の自動化関連設備向けや東アジアを中心とした電子デバイス・通信機器等の組立自動化設備向けの販売は、市況の低迷を受けて減少したものの、受注は販売網の拡充施策により回復傾向にあります。

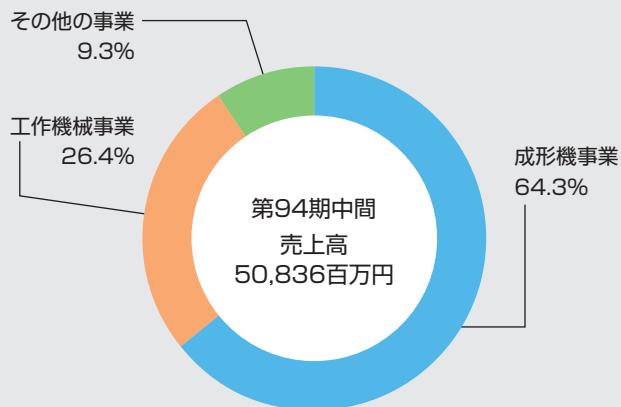
この結果、その他の事業全体の売上高は、60億5千1百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は、7千9百万円（前年同期比58.4%減）となりました。



事業別受注高構成比率



事業別売上高構成比率



連結財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第94期中間期 (平成28年9月30日現在)	第93期 (平成28年3月31日現在)	科 目	第94期中間期 (平成28年9月30日現在)	第93期 (平成28年3月31日現在)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	114,887	120,987	流 動 負 債	45,801	48,795
現金及び預金	22,160	16,656	支払手形及び買掛金	22,569	25,060
受取手形及び売掛金	35,535	43,425	短期借入金	10,733	12,109
有価証券	25,152	26,276	未払法人税等	588	950
商品及び製品	7,894	7,208	未払費用	4,594	5,020
仕掛品	19,528	22,169	製品保証引当金	536	594
原材料及び貯蔵品	75	72	その他	6,778	5,059
繰延税金資産	2,616	2,809	固 定 負 債	15,933	16,170
その他	2,053	2,528	長期借入金	4,550	4,800
貸倒引当金	△ 129	△ 159	長期未払金	5	8
固 定 資 産	38,039	37,323	繰延税金負債	1,922	2,016
有形固定資産	20,010	19,249	役員退職慰労引当金	24	32
建物及び構築物	9,522	10,162	退職給付に係る負債	9,352	9,226
機械装置及び運搬具	2,146	1,950	資産除去債務	48	48
土地	6,393	6,450	その他	29	38
リース資産	51	64	負 債 合 計	61,734	64,965
建設仮勘定	1,363	31	純資産の部		
その他	534	589	株 主 資 本	90,093	89,663
無形固定資産	2,605	3,141	資 本 金	12,484	12,484
のれん	1,832	2,254	資本剰余金	19,600	19,600
その他	773	886	利益剰余金	68,052	67,623
投資その他の資産	15,423	14,933	自己株式	△ 10,045	△ 10,044
投資有価証券	14,712	14,200	その他の包括利益累計額	1,099	3,681
長期貸付金	30	37	その他有価証券評価差額金	2,786	2,901
繰延税金資産	89	71	繰延ヘッジ損益	5	—
その他	625	664	為替換算調整勘定	56	2,643
貸倒引当金	△ 35	△ 39	退職給付に係る調整累計額	△ 1,748	△ 1,864
資 産 合 計	152,927	158,310	純 資 産 合 計	91,192	93,345
			負 債 ・ 純 資 産 合 計	152,927	158,310

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第94期中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	第93期中間期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
売 上 高	50,836	58,548
売 上 原 価	36,295	42,371
売 上 総 利 益	14,540	16,176
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	13,111	14,728
営 業 利 益	1,429	1,447
営 業 外 収 益	1,138	1,252
営 業 外 費 用	661	363
経 常 利 益	1,907	2,336
特 別 利 益	4	2,668
特 別 損 失	2	11
税金等調整前四半期純利益	1,909	4,993
法人税、住民税及び事業税	348	1,269
法 人 税 等 調 整 額	177	456
四 半 期 純 利 益	1,382	3,267
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,382	3,267

キャッシュ・フロー計算書

科 目	第94期中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	第93期中間期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,759	3,735
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 767	2,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,853	△ 1,023
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,351	184
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,786	5,780
現金及び現金同等物の期首残高	42,932	40,208
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 406	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,312	45,989

連結財務諸表のポイント

資 産

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ53億8千3百万円減少し、1,529億2千7百万円となりました。減少の主な内訳は、受取手形及び売掛金が78億9千万円減少したこと等によります。

負 債

負債は、前連結会計年度末に比べ32億3千1百万円減少し、617億3千4百万円となりました。減少の主な内訳は、支払手形及び買掛金が24億9千1百万円減少したこと等によります。

純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ21億5千3百万円減少し、911億9千2百万円となりました。減少の主な内訳は、為替換算調整勘定が25億8千7百万円減少したこと等によります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は59.6%となりました。

キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ43億8千万円増加し、473億1千2百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、87億5千9百万円の増加になりました。これは主として、売上債権の減少69億2百万円、たな卸資産の減少20億1千8百万円等の収入があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、7億6千7百万円の減少になりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出7億5千1百万円等があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、18億5千3百万円の減少になりました。これは主として、短期借入金の減少6億7千9百万円、配当金の支払額9億1千2百万円等があったことによります。

■御殿場工場テクニカルセンター建設工事の進捗

工作機械の生産拠点である御殿場工場において建設中のテクニカルセンターおよび技術棟について、11月に棟上げが行なわれました。2017年5月の開設に向けて順調に工事が進んでおります。

テクニカルセンターは展示エリア・開発エリアで構成され、先端加工技術の発信基地ならびに新規開発機のテストセンターとして、お客様に新たな価値を提案いたします。



建設工事の様子

■超精密立形加工機UVMシリーズに5軸仕様機をラインアップに追加（自由度の高い鏡面加工を実現）

当社は、このほどご好評いただいております超精密立形加工機UVMシリーズに同時5軸加工に対応したUVM-700E（5AD）を開発し、販売を開始しました。

UVMシリーズは、レンズ金型加工機で培った機械技術を基に、毎分6万回転の空気静圧軸受スピンドルや、指令単位が0.01 μ m（10万分の1mm）のリニアモータ制御技術によって、これまで、LEDレンズ金型などにおいて、表面粗さ3ナノメートルの磨きレス鏡面仕上げを実現している高速ミーリング機です。

今回、UVMシリーズならではの磨きレス鏡面仕上げの適用範囲が大幅に拡大できる5軸加工機を開発し、近年の自動車照明部品金型などの大型ワークに対応可能となることで、お客様の生産性向上に貢献します。

なお、本機は、5月19日（木）から21日（土）まで当社沼津工場（本社）・御殿場工場で開催された『第14回東芝機械グループソリューションフェア2016』にて初出展し、多くのお客様から高評価をいただきました。

詳しくは、当社ホームページ（http://www.toshiba-machine.co.jp/jp/NEWS/product/2016_0506_6.html）をご覧ください。



超精密立形加工機
「UVM-700E (5AD)」



加工の様子

■日刊工業新聞社主催 第46回機械工業デザイン賞 審査委員会特別賞受賞

当社の「ダイカストマシンDC350R-EH」が、このたび日刊工業新聞社主催「第46回機械工業デザイン賞」にて、「審査委員会特別賞」を受賞しました。

本賞は主に生産財を対象として、外観、機能、性能、色彩など様々な要素を総合的に判断して評価されるものです。

今回の受賞は、Rシリーズの基本性能が、ダイカスト製品の高品質化と省エネ生産に貢献し、海外拠点向けをはじめ、多様化するユーザーズに対応する完成度の高い仕上がりとなっている点が高い評価を得ました。

当社は、今後開発される機械でも、多様化するユーザーズに対応する製品づくりに取り組んでまいります。

詳しくは、当社ホームページ（http://www.toshiba-machine.co.jp/jp/NEWS/technology/2016_0729.html）をご覧ください。



ダイカストマシンRシリーズ「DC350R-EH」



贈賞式の様子

■IMTS2016 工作機械見本市に出展

2016年9月12日(月)から17日(土)までの6日間、米国シカゴ・マコーミックプレイスにて工作機械の国際見本市(IMTS2016)が開催され、当社は、3台の工作機械を展示しました。

本展示会は、工作機械の世界3大見本市の1つと言われ、欧州のEMOショー、日本のJIMTOFと同様に、2,400社以上の出展があり、多くのユーザーが来場される国際見本市です。また、「展示即売会」としても有名な展示会でもあります。6日間の合計総来場者数は、約115,000名であり、前回を超える来場者数でした。

ドメインを自動車関連、航空機関連に絞り、IoTを含めた今回のコンセプトを具体化するため、門形機：MCW-4624、テーブル形横中ぐりフライス盤：BTD-200QH、CNC立旋盤：TUE-150(S)の3台を展示しました。

ドメインの1つである航空機向けに5軸加工、複合加工をテーマにMP-2620(U)の拡販VTRを流し、航空機ユーザー向けに説明を実施し、併せてBTD-200QHでは航空機のランディングギアを展示し、来場者の注目を集めました。

期間中、当社ブースには594社のお客様にご来場いただき、盛況のうちに終えることができました。本内覧会でいただいた多くの引合いを今後の受注へと繋げてまいります。



IMTS2016会場風景

■K2016 国際プラスチック・ゴム見本市に出展

2016年10月19日(水)から26日(水)までの8日間、ドイツ・デュッセルドルフにて国際プラスチック・ゴム見本市(K2016)が開催されました。

本展示会は、3年ごとに開催される世界最大のプラスチック・ゴム見本市で、今回は3,285社の出展があり、8日間の総来場者数は160か国、約230,000名にのぼりました。当社ブースには67か国、438名のお客様にご来場いただきました。

当社は、今回欧州・米州の各代理店やお得意様の大きな期待を受けて2004年以来12年ぶりに参加しました。最新鋭全電動式射出成形機EC180SXII-4Aおよび当社製ロボット2基(TV1000H、TVL700)を含む組立システムを出展・実演し、当社が複合的なシステムを提案できる総合機械メーカーであることをアピールしました。

本展示会で当社が日本をはじめアジア・米国で長年にわたって築きあげてきた技術力・ブランド力などの総合力を欧州市場において誇示することができ、今後、欧州市場で拡販していく足掛かりとすることができました。



K2016会場風景

■株主の皆さまの声を聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、インターネットでのアンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします(裏表紙ご参照)。

グローバルネットワーク (平成28年9月30日現在)

国内拠点

- 本社・製造拠点** ● **本社** 沼津
 ● **工場** 沼津、相模、御殿場
販売拠点 ● **本店** 東京
 ● **支店** 東北、中部、関西、九州
 ● **営業所** 高崎、浜松、広島、尾道



沼津工場（本社）



相模工場



御殿場工場

海外拠点

- 製造拠点** ● **工場** 上海、インド、タイ
販売拠点 全48拠点
 ● **東アジア** 12拠点
 ● **東南アジア** 28拠点（インド20拠点含む）
 ● **北米・中南米** 7拠点
 ● **欧州** 1拠点

- **東アジア統括**
 SHANGHAI
 TOSHIBA MACHINE CO., LTD.
 ● **上海工場**
 TOSHIBA MACHINE
 (SHANGHAI) CO., LTD.



- **インド工場**
 TOSHIBA MACHINE
 (CHENNAI) PRIVATE LIMITED



- **タイ工場**
 TOSHIBA MACHINE MANUFACTURING
 (THAILAND) CO., LTD.



- **欧米統括**
 TOSHIBA MACHINE
 COMPANY, AMERICA



会社の概況／株式の状況 (平成28年9月30日現在)

会社の概況

① 所在地
東京都千代田区内幸町2丁目2番2号

② 創業
1938年(昭和13年)12月

③ 設立
1949年(昭和24年)3月

④ 資本金
124億8千4百万円

⑤ 従業員数
連結：3,302名(前期末比16名増)
単独：1,827名(前期末比10名増)

⑥ 役員(平成28年12月1日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	飯村幸生
代表取締役 専務執行役員	坂元繁友
取締役 常務執行役員	八木正幸
取締役 常務執行役員	三上高弘
取締役 執行役員	伊東克雄
取締役 執行役員	小林昭美
社外取締役	秋山寛
社外取締役	小倉良弘
常勤監査役	牧野輝幸
常勤監査役	辻眞
監査役	宇佐美豊

(注) 常勤監査役 牧野輝幸氏、監査役 宇佐美豊氏は社外監査役であります。

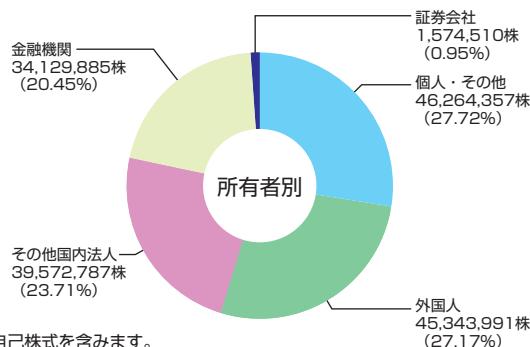
株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 360,000,000株
 (2) 発行済株式の総数 166,885,530株
 (自己株式14,865,951株含む)
 (3) 株主数 11,087名
 (前期末比77名増)
 (4) 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社東芝	33,545千株	22.07%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	7,037	4.63
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	4,865	3.20
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	4,028	2.65
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	3,916	2.58
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	3,192	2.10
MSIP CLIENT SECURITIES	3,068	2.02
株式会社静岡銀行	2,980	1.96
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,896	1.91
株式会社三井住友銀行	2,682	1.76

- (注) 1. 当社は、自己株式を14,865,951株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

(5) 株式の分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行なっております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



個人投資家向けHP開設のご案内



個人投資家の皆さまに当社へのご理解を深めていただくためのページをご用意いたしました。ご高覧の上、下記のアンケートにてご感想、掲載内容へのご意見等いただければ幸いです。

<http://www.toshiba-machine.co.jp/jp/ir/private/index.html>

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **6104**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media)についての詳細<http://www.a2media.co.jp>
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com